

# 調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成24年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成24年1月1日～平成24年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省  
└── 保健所を・特別区  
    設置する市 ───┘
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

## 《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報
数値：調査票を作成した数
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む
公表：毎月 (調査月の約2か月後)

人口動態統計月報
数値：概数
集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)
公表：毎月 (調査月の約5か月後) ：毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)

人口動態統計年報
数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)
集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)
公表：毎年(調査年の翌年9月)

※本概況は太枠の部分である。

## 報告書(刊行は平成26年2～3月ころ)

- 上巻(人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻(出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻(死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

#### 4 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{自然増減数 (出生数-死亡数)}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数 (妊娠満12週以後の死児の出生) (総数・自然・人工)}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数+年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数}}{\text{年間出生数+年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数 (生後1週(7日)未満の死亡数)}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$

(都道府県は5歳階級で算出し、5倍したものを合計している。)

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \left[ \begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{基準人口集団のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢(年齢階級)の総和}}{\text{基準人口集団の総数}}$$

年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口、20ページ)にあてはめて算出した指標である。

なお、計算式中の「観察集団の各年齢(年齢階級)の死亡率」は、1,000倍されたものである。

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

# 結果の概要

## 1 出生数は減少

出生数は103万7231人で、前年の105万806人より1万3575人減少し、出生率（人口千対）は8.2で前年の8.3を下回った。合計特殊出生率は1.41で前年の1.39を上回った。（第1表）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15～34歳の各階級及び50歳以上では前年より減少したが、14歳以下及び35～49歳の各階級では増加した（第4表（1））。

合計特殊出生率の内訳を年齢（5歳階級）別にみると、15～29歳の各階級では前年より低下したが、30～49歳の各階級では上昇した。なお、30～34歳の階級が最も高くなっている。（第5表（1））

出生順位別にみると、出生数はいずれの出生順位についても前年より減少した。合計特殊出生率の内訳では第1子は前年を下回ったが、第2子及び第3子以上は前年を上回った。（第4表（2）、第5表（2））

母の年齢（5歳階級）別と出生順位別を併せてみると、出生数は35～39歳では第1子及び第2子が前年より増加し、40～49歳の各階級については、いずれの出生順位についても前年より増加した。合計特殊出生率の内訳は、30～44歳の各階級でいずれの出生順位についても前年を上回った。（第4表（3）、第5表（3））

## 2 死亡数は増加

死亡数は125万6359人で、前年の125万3066人より3293人増加し、死亡率（人口千対）は10.0で前年の9.9を上回った（第1表）。

悪性新生物の死亡数は36万963人で、死亡率（人口10万対）は286.6であり、死亡総数の28.7%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は肺炎である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.2、女2.7で前年より男は0.3、女は0.2それぞれ下回った（第1表）。

## 3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△21万9128人で、前年の△20万2260人より1万6868人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.7で前年の△1.6を下回り、数・率ともに6年連続でマイナスとなった（第1表、第2表－1、第2表－2）。

## 4 死産数は減少

死産数は2万4800胎で、前年の2万5751胎より951胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は23.4で、前年の23.9を下回った（第1表）。

## 5 婚姻件数は増加

婚姻件数は66万8869組で、前年の66万1895組より6974組増加し、婚姻率（人口千対）は5.3で前年の5.2を上回った（第1表）。

## 6 離婚件数は減少

離婚件数は23万5406組で、前年の23万5719組より313組減少し、離婚率（人口千対）は1.87で前年と同率となった（第1表）。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 037 231	531 781	505 450	1 256 359	655 526	600 833	2 299	1 222	1 077	1 065
北海道	38 686	19 750	18 936	58 066	30 834	27 232	88	50	38	43
青森	9 168	4 771	4 397	17 294	8 953	8 341	24	12	12	15
岩手	9 276	4 776	4 500	16 072	8 269	7 803	27	12	15	14
宮城	18 707	9 527	9 180	22 101	11 475	10 626	42	23	19	19
秋田	6 543	3 281	3 262	14 856	7 485	7 371	11	2	9	6
山形	8 212	4 206	4 006	14 752	7 416	7 336	23	14	9	16
福島	13 770	7 075	6 695	23 418	12 079	11 339	30	17	13	13
茨城	22 896	11 590	11 306	30 009	15 690	14 319	61	34	27	25
栃木	15 973	8 217	7 756	20 784	10 852	9 932	38	22	16	16
群馬	14 914	7 569	7 345	21 169	11 062	10 107	45	23	22	23
埼玉	56 943	29 155	27 788	59 137	32 440	26 697	114	56	58	50
千葉	48 881	25 169	23 712	53 206	28 934	24 272	135	65	70	64
東京都	107 401	54 985	52 416	109 194	58 203	50 991	236	129	107	117
神奈川	75 477	38 710	36 767	71 996	39 450	32 546	174	101	73	91
新潟	17 476	8 914	8 562	28 083	14 388	13 695	20	10	10	11
富山	7 880	4 077	3 803	12 754	6 503	6 251	17	13	4	8
石川	9 544	4 846	4 698	12 223	6 203	6 020	19	11	8	13
福井	6 712	3 452	3 260	8 795	4 427	4 368	14	9	5	9
山梨	6 336	3 193	3 143	9 555	4 826	4 729	13	7	6	4
長野	16 661	8 539	8 122	24 474	12 468	12 006	31	12	19	14
岐阜	16 496	8 372	8 124	21 531	11 126	10 405	27	15	12	13
静岡県	30 810	15 865	14 945	38 194	19 940	18 254	58	22	36	28
愛知	67 913	35 013	32 900	61 354	32 902	28 452	142	76	66	55
三重	14 729	7 492	7 237	19 210	9 934	9 276	48	21	27	15
滋賀	13 236	6 720	6 516	12 221	6 131	6 090	29	15	14	15
京都	20 111	10 442	9 669	25 416	12 828	12 588	40	20	20	24
大阪	73 012	37 419	35 593	80 472	43 006	37 466	154	97	57	62
兵庫県	46 436	23 854	22 582	53 657	27 858	25 799	79	47	32	20
奈良	10 565	5 405	5 160	13 656	7 021	6 635	25	14	11	7
和歌山	7 424	3 778	3 646	12 435	6 290	6 145	15	7	8	9
鳥取	4 771	2 402	2 369	7 074	3 492	3 582	9	3	6	7
島根	5 585	2 975	2 610	9 513	4 704	4 809	11	7	4	6
岡山	16 279	8 378	7 901	21 181	10 661	10 520	38	21	17	16
広島	24 846	12 723	12 123	29 273	15 008	14 265	57	26	31	26
山口	10 797	5 539	5 258	18 231	9 076	9 155	26	19	7	10
徳島	5 744	2 966	2 778	9 781	4 900	4 881	25	11	14	11
香川	8 161	4 162	3 999	11 369	5 697	5 672	15	9	6	8
愛媛	11 130	5 699	5 431	17 216	8 627	8 589	28	12	16	18
高知	5 266	2 671	2 595	10 142	5 096	5 046	13	5	8	8
福岡	45 815	23 560	22 255	48 957	24 729	24 228	94	50	44	47
佐賀	7 440	3 817	3 623	9 676	4 929	4 747	12	5	7	4
長崎	11 723	5 983	5 740	16 784	8 327	8 457	27	12	15	18
熊本	15 996	8 316	7 680	20 565	10 303	10 262	39	18	21	16
大分	9 650	5 038	4 612	14 050	6 986	7 064	24	13	11	9
宮崎	9 858	5 006	4 852	13 051	6 568	6 483	27	12	15	12
鹿児島	14 841	7 595	7 246	21 281	10 518	10 763	28	13	15	13
沖縄	17 074	8 749	8 325	10 626	5 637	4 989	46	30	16	16
外国	67	40	27	170	137	33	-	-	-	-
不詳				1 335	1 138	197	1	-	1	1
(再掲)										
東京都の区部	74 591	38 084	36 507	74 657	39 976	34 681	163	83	80	82
札幌市	14 487	7 415	7 072	16 228	8 666	7 562	34	18	16	13
仙台市	9 441	4 790	4 651	7 843	4 219	3 624	14	8	6	2
さいたま市	10 536	5 524	5 012	9 360	5 095	4 265	22	14	8	6
千葉市	7 707	3 919	3 788	7 403	4 165	3 238	24	11	13	13
横浜市	30 959	15 843	15 116	28 930	15 883	13 047	80	51	29	43
川崎市	14 257	7 405	6 852	9 716	5 502	4 214	30	14	16	16
相模原市	5 769	2 922	2 847	5 165	2 874	2 291	9	4	5	4
新潟市	6 369	3 265	3 104	8 027	4 188	3 839	10	3	7	6
静岡市	5 428	2 803	2 625	7 416	3 836	3 580	6	3	3	3
浜松市	7 137	3 642	3 495	7 570	3 900	3 670	19	5	14	11
名古屋市	19 610	10 067	9 543	19 680	10 578	9 102	43	21	22	14
京都市	11 050	5 749	5 301	13 984	6 916	7 068	20	10	10	13
大阪市	22 763	11 730	11 033	27 061	14 730	12 331	59	32	27	22
堺市	7 211	3 701	3 510	7 626	4 071	3 555	13	9	4	5
神戸市	12 357	6 336	6 021	14 754	7 696	7 058	19	10	9	4
岡山市	6 609	3 399	3 210	6 414	3 257	3 157	15	8	7	5
広島市	11 262	5 775	5 487	9 415	4 801	4 614	20	11	9	11
北九州市	8 213	4 175	4 038	10 389	5 316	5 073	24	11	13	8
福岡市	14 453	7 470	6 983	10 708	5 518	5 190	20	10	10	11
熊本市	7 144	3 755	3 389	6 413	3 233	3 180	21	13	8	7

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2 熊本市は平成24年4月から政令指定都市となったが、平成24年1月からの数値を計上している。



第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	( 出 産 千 対 )		
全 国	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
北海道	7.1	10.7	2.3	1.1	△ 3.6	29.5	11.9	17.7
青森	6.8	12.8	2.6	1.6	△ 6.0	27.6	12.6	15.0
岩手	7.1	12.4	2.9	1.5	△ 5.2	27.6	15.1	12.5
宮城	8.1	9.5	2.2	1.0	△ 1.5	25.4	11.6	13.8
秋田	6.2	14.0	1.7	0.9	△ 7.8	25.5	12.2	13.3
山形	7.2	12.9	2.8	1.9	△ 5.7	25.6	10.7	15.0
福島	7.0	12.0	2.2	0.9	△ 4.9	27.4	15.0	12.4
茨城	7.9	10.3	2.7	1.1	△ 2.4	24.6	11.7	12.9
栃木	8.1	10.6	2.4	1.0	△ 2.4	23.4	10.4	13.0
群馬	7.6	10.8	3.0	1.5	△ 3.2	25.3	11.2	14.1
埼玉	8.0	8.3	2.0	0.9	△ 0.3	23.8	11.9	11.9
千葉	8.0	8.7	2.8	1.3	△ 0.7	23.0	11.1	12.0
東京	8.3	8.5	2.2	1.1	△ 0.1	21.2	10.1	11.1
神奈川	8.4	8.0	2.3	1.2	0.4	20.6	10.1	10.5
新潟	7.5	12.0	1.1	0.6	△ 4.5	22.7	10.8	11.9
富山	7.4	11.9	2.2	1.0	△ 4.5	24.6	14.1	10.5
石川	8.3	10.6	2.0	1.4	△ 2.3	19.4	11.4	8.0
福井	8.5	11.1	2.1	1.3	△ 2.6	24.6	11.8	12.8
山梨	7.5	11.4	2.1	0.6	△ 3.8	22.8	9.4	13.4
長野	7.9	11.6	1.9	0.8	△ 3.7	22.4	10.6	11.7
岐阜	8.1	10.6	1.6	0.8	△ 2.5	21.1	10.5	10.6
静岡	8.4	10.4	1.9	0.9	△ 2.0	20.6	10.0	10.5
愛知	9.3	8.4	2.1	0.8	0.9	20.7	9.8	10.9
三重	8.1	10.6	3.3	1.0	△ 2.5	21.2	10.1	11.1
滋賀	9.5	8.8	2.2	1.1	0.7	17.5	8.8	8.8
京都	7.8	9.8	2.0	1.2	△ 2.1	22.6	10.1	12.5
大阪	8.4	9.3	2.1	0.8	△ 0.9	23.1	10.3	12.7
兵庫	8.4	9.8	1.7	0.4	△ 1.3	22.4	10.9	11.5
奈良	7.7	9.9	2.4	0.7	△ 2.2	24.8	11.4	13.4
和歌山	7.6	12.7	2.0	1.2	△ 5.1	21.0	8.4	12.5
鳥取	8.3	12.2	1.9	1.5	△ 4.0	23.5	10.0	13.5
島根	8.0	13.6	2.0	1.1	△ 5.6	24.1	10.0	14.2
岡山	8.5	11.0	2.3	1.0	△ 2.6	21.5	8.4	13.0
広島	8.8	10.4	2.3	1.0	△ 1.6	20.7	10.2	10.5
山口	7.6	12.8	2.4	0.9	△ 5.2	23.9	11.1	12.7
徳島	7.4	12.7	4.4	1.9	△ 5.2	24.3	11.0	13.2
香川	8.3	11.6	1.8	1.0	△ 3.3	19.8	10.9	8.9
愛媛	7.9	12.2	2.5	1.6	△ 4.3	25.6	9.5	16.1
高知	7.0	13.5	2.5	1.5	△ 6.5	28.2	10.7	17.5
福岡	9.1	9.7	2.1	1.0	△ 0.6	26.6	11.5	15.1
佐賀	8.9	11.5	1.6	0.5	△ 2.7	23.1	10.6	12.5
長崎	8.4	12.0	2.3	1.5	△ 3.6	27.0	12.1	14.9
熊本	8.9	11.4	2.4	1.0	△ 2.5	26.5	9.1	17.4
大分	8.2	11.9	2.5	0.9	△ 3.7	27.1	9.7	17.4
宮崎	8.8	11.6	2.7	1.2	△ 2.8	31.5	11.9	19.6
鹿児島	8.8	12.6	1.9	0.9	△ 3.8	27.5	10.4	17.0
沖縄	12.2	7.6	2.7	0.9	4.6	28.8	13.8	15.0
(再掲)								
東京都の区部	8.3	8.3	2.2	1.1	△ 0.0	21.7	10.3	11.4
札幌市	7.5	8.4	2.3	0.9	△ 0.9	29.9	12.1	17.8
仙台市	8.9	7.4	1.5	0.2	1.5	23.6	9.9	13.7
さいたま市	8.5	7.6	2.1	0.6	1.0	20.4	8.6	11.7
千葉市	8.0	7.7	3.1	1.7	0.3	24.3	13.8	10.5
横浜市	8.4	7.8	2.6	1.4	0.5	19.7	10.4	9.3
川崎市	9.9	6.8	2.1	1.1	3.2	19.5	8.8	10.7
相模原市	8.0	7.2	1.6	0.7	0.8	22.2	9.3	12.9
新潟市	7.9	9.9	1.6	0.9	△ 2.0	22.3	10.7	11.5
静岡市	7.6	10.4	1.1	0.6	△ 2.8	25.1	12.2	12.9
浜松市	9.0	9.5	2.7	1.5	△ 0.5	19.0	10.9	8.1
名古屋市	8.7	8.7	2.2	0.7	△ 0.0	22.6	9.7	12.9
京都市	7.5	9.5	1.8	1.2	△ 2.0	22.6	9.9	12.6
大阪市	8.5	10.1	2.6	1.0	△ 1.6	24.9	10.8	14.1
堺市	8.6	9.1	1.8	0.7	△ 0.5	20.8	9.6	11.1
神戸市	8.0	9.6	1.5	0.3	△ 1.6	25.2	11.4	13.8
岡山市	9.3	9.0	2.3	0.8	0.3	21.6	7.1	14.5
広島市	9.5	8.0	1.8	1.0	1.6	18.2	9.0	9.2
北九州市	8.4	10.7	2.9	1.0	△ 2.2	29.7	12.3	17.4
福岡市	9.7	7.2	1.4	0.8	2.5	26.0	10.7	15.3
熊本市	9.7	8.7	2.9	1.0	1.0	25.2	8.1	17.2

注：1 全国には住所が外国・不詳を含む。  
2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」20ページ参照。  
3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。  
4 熊本市は平成24年4月から政令指定都市となったが、平成24年1月からの数値を計上している。

周産期 <sup>2)</sup> 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 <sup>2)</sup> 以後の死産率 (出産千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率	都道府県
4.0	3.2	0.8	5.3	1.87	1.41	全 国
4.1	3.3	0.8	4.9	2.13	1.26	北 海 道
4.1	2.6	1.5	4.3	1.79	1.36	青 森 県
6.0	4.9	1.1	4.3	1.52	1.44	岩 手 県
3.8	3.1	0.7	5.3	1.71	1.30	宮 城 県
4.1	3.2	0.9	3.8	1.41	1.37	秋 田 県
4.9	3.5	1.3	4.3	1.47	1.44	山 形 県
4.6	4.1	0.5	4.7	1.64	1.41	福 島 県
4.8	4.0	0.8	5.0	1.81	1.41	茨 城 県
4.1	3.5	0.6	5.2	1.87	1.43	栃 木 県
4.8	3.4	1.4	4.7	1.80	1.39	群 馬 県
4.4	3.6	0.7	5.2	1.89	1.29	埼 千 県
4.4	3.4	1.0	5.3	1.88	1.31	玉 葉 県
3.7	2.9	0.8	6.9	1.96	1.09	東 京 府
4.0	3.1	0.9	5.8	1.88	1.30	神 奈 川 県
3.8	3.3	0.5	4.4	1.38	1.43	新 潟 県
4.9	4.0	0.9	4.5	1.44	1.42	富 石 県
3.8	2.9	0.8	4.9	1.53	1.47	山 川 県
4.6	3.6	1.0	4.6	1.57	1.60	福 井 県
3.6	3.1	0.5	4.7	1.89	1.43	山 梨 県
3.7	2.9	0.7	4.7	1.68	1.51	長 野 県
4.2	3.6	0.6	4.7	1.63	1.45	岐 阜 県
3.4	2.8	0.6	5.2	1.87	1.52	静 岡 県
3.8	3.3	0.6	5.9	1.85	1.46	愛 知 県
4.2	3.4	0.8	5.0	1.79	1.47	重 慶 県
3.8	3.1	0.8	5.3	1.68	1.53	滋 賀 県
3.8	3.0	0.8	5.1	1.80	1.23	京 都 府
4.0	3.3	0.7	5.5	2.16	1.31	大 阪 府
3.3	3.0	0.3	5.1	1.87	1.40	兵 庫 県
3.3	2.9	0.4	4.5	1.73	1.32	奈 良 県
4.0	3.0	1.1	4.7	1.99	1.53	和 歌 山 県
5.2	4.0	1.3	4.8	1.84	1.57	鳥 取 県
3.4	2.5	0.9	4.4	1.44	1.68	島 根 県
3.4	2.6	0.7	5.0	1.83	1.47	岡 山 県
4.0	3.2	0.8	5.2	1.80	1.54	広 島 県
3.3	2.5	0.8	4.6	1.68	1.52	山 口 県
4.3	3.1	1.2	4.4	1.62	1.44	徳 島 県
5.0	4.0	1.0	4.9	1.92	1.56	香 川 県
3.7	2.8	0.9	4.5	1.80	1.52	愛 媛 県
4.5	3.6	0.9	4.3	1.87	1.43	高 知 県
4.2	3.4	0.8	5.5	2.09	1.43	福 岡 県
2.4	1.9	0.5	4.8	1.75	1.61	佐 賀 県
3.9	3.1	0.8	4.5	1.75	1.63	長 崎 県
3.1	2.4	0.6	5.0	1.88	1.62	熊 本 県
3.7	3.2	0.5	4.8	1.86	1.53	大 分 県
3.1	2.3	0.8	5.1	2.16	1.67	宮 崎 県
3.4	2.8	0.7	4.8	1.85	1.64	鹿 児 島 県
4.3	3.6	0.6	6.3	2.59	1.90	沖 縄 県
						(再掲)
3.8	3.0	0.8	7.5	2.02	…	東京都の区部
4.6	3.9	0.8	5.6	2.36	…	札 幌 市
3.3	3.2	0.1	6.2	1.74	…	仙 台 市
2.8	2.4	0.5	5.6	1.75	…	さいたま市
4.5	3.1	1.4	5.1	1.84	…	千 葉 市
4.4	3.3	1.2	5.7	1.79	…	横 浜 市
3.3	2.7	0.6	7.3	1.78	…	川 崎 市
3.6	3.1	0.5	5.3	2.04	…	相 模 原 市
4.5	3.8	0.8	4.9	1.42	…	新 潟 市
2.9	2.8	0.2	5.1	1.78	…	静 岡 市
3.6	2.8	0.8	5.4	1.71	…	浜 松 市
3.2	2.6	0.6	6.1	2.02	…	名 古屋 市
3.8	2.9	0.9	5.5	1.84	…	京 都 市
4.6	3.8	0.7	6.5	2.45	…	大 阪 市
4.0	3.6	0.4	5.2	2.15	…	堺 市
2.8	2.6	0.2	5.3	1.98	…	神 戸 市
2.9	2.4	0.5	5.7	2.04	…	岡 山 市
3.9	3.0	0.9	5.6	1.89	…	広 島 市
4.6	4.0	0.6	5.3	2.13	…	北 九 州 市
3.4	2.8	0.6	6.7	2.14	…	福 岡 市
2.7	2.0	0.7	5.6	2.02	…	熊 本 市

注： 1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除したものである。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除したものである。